

2024年2月7日

各 位

会 社 名 株式会社SANKYO  
 代 表 者 名 代表取締役 石原明彦  
 社 長  
 (コード番号 6417 東証プライム)  
 問 合 せ 先 常務執行役員 高橋博史  
 管理本部長  
 (TEL. 03-5778-7777)

業績予想の修正、配当予想の修正（増配）及び配当方針の一部変更に関するお知らせ

2023年5月11日に公表いたしました2024年3月期の業績予想及び2023年9月21日に公表いたしました配当予想につきまして下記の通り修正いたしました。また、本日別途開示しております株式分割の実施予定に伴い、配当方針について一部内容の変更を行いましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 2024年3月期 通期連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想 (A)	175,000	59,500	60,000	41,500	742.10
今回発表予想 (B)	197,000	71,000	72,000	52,500	198.91
増減額 (B-A)	22,000	11,500	12,000	11,000	—
増減率 (%)	12.6	19.3	20.0	26.5	—
(ご参考) 前期実績 (2023年3月期)	157,296	58,532	59,341	46,893	807.52

(注) 当社は、本日開催の取締役会決議に基づき、2024年2月29日を基準日として普通株式1株につき5株の割合をもって株式分割を行う予定であり、修正後の1株当たり当期純利益につきましては当該株式分割調整後の内容を記載しております。

(2) 修正の理由

当パチンコ・パチスロ業界では、パチンコ市場においては、スマートパチンコ機導入の機運は本格化には至らず、現行機・スマート機問わず稼働を牽引する新規タイトルが不在となっていることから、好調なパチスロ市場に押され、総販売台数は前年度の1,055千台を下回り850千台程度の着地となる見込みです。こうした中、当社グループにおきましては、主力シリーズ最新作となる「フィーバー機動戦士ガンダムSEED」及び「ぱちんこ シン・エヴァンゲリオン Type レイ」を筆頭に販売台数を積み上げ、パチンコ機の販売台数は概ね当初計画どおりの296千台となり、販売台数シェアは30%を超え、前年度に引き続きトップシェアを獲得する見

込みとなりました。一方、パチスロ市場では、当社グループスマートパチスロ機第一弾「パチスロ 革命機ヴァルヴレイヴ」及び第二弾「パチスロからくりサーカス」が高く評価され、パチスロ市場においても存在感を高めることが出来たものの、各社からスマートパチスロ機の投入が相次ぎ、販売競争は激化していることから、当社グループの販売台数は、当初計画 90 千台に対し 70 千台となる見込みです。

パチンコ・パチスロトータルの販売台数としては概ね計画線の数字であった一方、増産・再販機種や主力シリーズ機を中心に販売単価が堅調に推移したことに加え、補給機器関連事業におきまして、スマート遊技機の普及により、専用ユニットの卸売り及びパラーの設備更新需要が増加したことから、売上高及び各利益が上記の通り前回発表予想を上回る見通しとなりました。

## 2. 配当予想の修正

### (1) 配当予想の修正の内容

	年間配当金		
	第 2 四半期末	期末	合計
前回予想 (2023 年 9 月 21 日発表)	—	150.00 円	300.00 円
今回修正 (株式分割前換算)	—	50.00 円 (250.00 円)	— (400.00 円)
当期実績	150.00 円	—	—
(ご参考) 前期実績 (2023 年 3 月期)	60.00 円	90.00 円	150.00 円

- (注) 1. 2024 年 3 月 31 日を基準日とする 2024 年 3 月期の期末配当は、2024 年 2 月 29 日を基準日とする株式分割後の株式数を基準といたします。
2. 合計の 1 株当たり配当金予想につきましては、株式分割の実施により単純比較ができないため表示しておりませんが、株式分割前換算による 1 株当たり年間配当金の予想は 400 円です。

### (2) 修正の理由

業績予想の修正に伴い、連結配当性向 40%を目安とした配当方針に基づき期末配当金の額を見直すことといたします。また、2024 年 2 月 29 日を基準日として、1 株につき 5 株の割合をもって株式分割を行うことから、株式分割後の株式数を対象として算出しております。期末配当金は 50 円といたしますが、これは株式分割前換算で 250 円となり、前回予想の 150 円に対して実質増配となります。なお、株式分割の詳細につきましては、本日別途開示しております「株式分割、定款の一部変更及び自己株式の取得に係る事項の一部見直しに関するお知らせ」をご参照ください。

### 3. 株式分割に伴う配当方針の一部変更

#### (1) 配当方針の一部変更理由

株式分割の実施に伴い、分割割合に応じて1株当たり年間配当金の下限を調整するものです。

#### (2) 配当方針の変更内容（下線は変更部分を示します。）

##### （株式分割前）

当社では、株主の皆さまへの利益の還元を経営上の最重要課題のひとつとして位置付けており、配当金につきましては、連結配当性向40%を目安とした業績連動型配当を行うことを基本方針といたします。ただし、1株当たりの年間配当金については下限を100円と設定し、安定配当の要素も取り入れることといたします。

なお、中間配当金につきましては、第2四半期累計期間の連結配当性向40%を配当金総額の目安としますが、中間配当額を決定する時点での通期1株当たり配当金予想金額の50%を上限とします。

##### （株式分割後）

当社では、株主の皆さまへの利益の還元を経営上の最重要課題のひとつとして位置付けており、配当金につきましては、連結配当性向40%を目安とした業績連動型配当を行うことを基本方針といたします。ただし、1株当たりの年間配当金については下限を20円と設定し、安定配当の要素も取り入れることといたします。（以下略）

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上